第１３号

かさおか自慢子ども新聞

２０１５年（平成２７年）
３月７日（土）発　行

笠岡地区まちづくり協議会
文化部会　・　子ども新聞部

笠岡来たれば　おかげあり

みなさんは、笠岡駅前にあるこの看板を知っていますか？

「ようこそ
　潮風かおるまち笠岡へ」
「人も化石も花々も
　心ゆったりできるまち笠岡」
「笠岡来たれば　福あり」

どれも笠岡のキャッチフレーズで、駅前に来た人に笠岡のみりょくを知ってもらうためにつくられています。

中でも「笠岡来たれば　福あり」は笠岡独特のキャッチフレーズで、商店街のお世話をしている委員会の方にくわしく教えてもらいました。

「おかげいち」は平成八年十月から、月に一度の大仙院の縁日に合わせて始まりました。

笠岡にたくさんの人が来るように、町おこしの一つとして、「ドラマチックかさおかネットワーク委員会」という組織をつくって、笠岡と商店街の活性化のために始めたのです。

おいでんせえ笠岡へ

「おかげいち」の名前の由来は「おかげ」という言葉が感謝の気持ちを表していることから、お客さんにありがとうの感謝の気持ちで「おかげいち」となったそうです。

始めた頃は一三〇店ほどの店が集まってきて、チラシを入れたり、笠岡放送で呼びかけたりしたりして「おかげいち」をもりあげるためにがんばったそうです。

（六年　佐藤美織）

あっちこっちから

「おかげいち」には、たくさんの人がやって来ます。ふだんは、ほとんど市内の人だけが来る商店街ですが、大仙様の日には、遠くからも人が来ます。たとえば里庄、寄島、鴨方、金光、玉島、大門、矢掛、井原などです。どんな物を買って帰るかというと、食料品やお菓子、日用品に衣料品、花・植木などです。時には昼食を食べて帰る人もいます。このように、「おかげいち」のおかげをもらいに、ほかの町からたくさんの人がやって来ます。

（五年　金山　愛）
（五年　藤本春花）

ワゴンセール　いらっしゃい！

「おかげいち」があると六十軒ぐらいの店がお店を開きます。お店の前にシートを広げていっぱい品物をならべたり、いくつものかごを重ねて何が入っているのかなどきょうみをさそったりしています。お店は、食料品店、衣料品店、文房具店、食堂、薬屋、美容室など様々で、おかげいちに来られた人達みんなが、笑顔で買い物を楽しめるように工夫しています。また、「おかげいち」でしか食べられない物も売っています。変わった工夫もあります。化粧品店でフライビーンズを売ったりしています。菓子屋では五年生が考えたお菓子も売っています。「さあ　いらっしゃ～い。」

（六年　丸山真由）
（四年　丸山華央）

おかげいち　もりあげ隊

私達三年生は、去年の十月十七日に「おかげいちもりあげ隊」として、自分達で作ったぜんざいや観葉植物・花の苗などを売りました。また、七福神の衣装を着て商店街を歩いたり、はっぴを着てソーラン節を踊ったり、野菜市などのお店の手伝いなどもしました。

夏から準備をして大変だったけれど、たくさんのお客さんが来てくれたのでとてもうれしかったです。来年の三年生も、もっともっともりあげてください。

（三年　廣井千温）

町の人　みんな　がんばってるよ

商店街の方から、高齢化や後継者不足に一番苦労していると聞きました。そのうえ、大仙院にお参りされる方も高齢化して、年々減ってきているのも悩みの一つだそうです。

そこで、各商店街では工夫して野菜市や福引大会、ソーメン流しなどをしたり、おかみさん会が豚汁の接待をしたりして盛り上げています。にぎやかなおかげいちが続いてほしいです。

（六年　廣井真温）

五人しかいない　七福神　クイズ
サテ　どこにいるでしょう？

答えは次号で！　（六年　馬越紬未）

大黒天

①（　　）
裕福の神様。裕福な生活が出来る様に

恵比寿天

②（　　）
商売繁盛、交通安全の神様。安全に暮らせる様に

弁財天

③（　　）
知恵の神様。勉強が出来る様に

布袋尊

④（　　）
円満平和の神様。平和に暮らせる様に

毘沙門天

⑤（　　）
勇気の神様。強い人になれる様に